

☆CoMORI → 高知市内のイベントに出演
 ☆地域おこし協力隊 → KIRecub代表の挨拶
 ☆森林の文化創造推進課 → 森林づくり体験ツアー実施

2022.12

梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」機関紙
 編集・発行 ReMORI(角金、長谷川、笹岡)

リモリモンスリー

「CoMORI」高知市内でイベントに出演！



10月22～23日の2日間、私たちCoMORIは、高知市の中央公園で開催された「もくもくエコランド2022」に出演しました。

芸能人のユージさんと一緒に、ステージ上でのトークショーやチェーンソーを使用した家具制作の実演を行うなど、とても貴重な体験をしました。

トークショーでは、自分たちの仕事や、森林に対する考え方をユージさんや視聴者の皆様にしっかりと伝えられたのではないかと思います。

家具製作（テーブルと椅子）は練習する時間が少ない中での本番となりましたが、協力隊を含め日々林業に従事している成果もあり、なかなか良いテーブルと椅子を作ることができました。

私は未利用材を使用して木質ペレットを製造しているのですが、イベントを通じて、自分の仕事が梶原町の林業の発展に貢献していることを改めて実感できました。

今回のイベントがきっかけでCoMORIの『Co（コミュニケーション）』も深まったのではないかと思います。もし機会があればまたイベントに参加し、林業のことを知らない方に少しでも森林の魅力を知ってもらえるきっかけにしていきたいと思っています。

高橋 元気

第3回森林づくり体験ツアーを実施

第3回森林づくり体験ツアーを10月14日（金）から16日（日）の日程で開催しました。このツアーは梶原町の林業の担い手確保を目的としており、今回は男女4名の方にご参加いただきました。この3日間で参加者の皆様には、製材所・ペレット工場の見学、植樹体験や伐倒現場見学、さらにはチェーンソー体験、木造施設の見学を行い、林業の川上から川下までを体験していただきました。

植樹体験では芹川地区国有林で松山榮喜さんに指導していただき、50本の苗木を植えました。参加者にとっては傾斜も急なうえに、慣れない山での作業でしたが、いい汗をかいて達成感を得ていただけました。

また、ReMORI会員の川上木材と川上製材の現場へお邪魔した際には、普段見ることのない伐倒の様子や、チェーンソーでの玉切りを体験し、それまで漠然としていた林業へのイメージがより具体的になったとの感想をいただきました。参加者の皆様は3日間非常に熱を持ってツアーに臨み、今回のツアーを通じて梶原への移住の思いを強くもった方もおられました。今後もこうした活動を継続していき、梶原町の林業の担い手確保を進めて参ります。ツアーにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

次回、第4回ツアーは2月17日～19日に開催予定です。

森林の文化創造推進課



地域おこし協力隊、育林事業始めました。

ゆすはら地域おこし協力隊の下村です。10月より協力隊2年目に突入し、この1年間で森林づくりに関して様々な事を学ばせて頂き、林業のやり甲斐や課題も出てきました。今の林業の課題は、全国的に林業で働く若手が少なく、高齢化が進んだことです。私が特に深刻だと感じているのは、木を切る「林産事業」より木を植えたり育てたりする「育林事業」に従事する方の人数が少ないことです。現在、梶原町でも育林をされている方は若干名とお聞きしています。

そのような中、10月より、ゆすはら地域おこし協力隊で学んだことを活かす新たなチャレンジとして、勤務活動外での育林事業をベースとした組織を立ち上げました。

組織名は『KIRecub -きりかぶ-』です。皆伐をして切り株になった山に新たな生命を育む、梶原町の森林を自分達の力で再生していこう、という想いを込めて名付けました。現在は仲洞地区の現場にて地拵え作業を行なっています。

今後は育林事業をベースとしながらも木工品や枝葉を活用したビジネス、森林・植樹イベントの開催、薪の販売など森林を身近に感じ、林業がもっと面白く、活気のある産業になるような様々な事業を展開していこうと思っています。町民の皆様、これから『KIRecub -きりかぶ-』の活動を温かく見守って頂けたら幸いです。

KIRecub代表 下村智也

